

令和7年11月5日

広島におけるオーバーツーリズム対策を強化します！

【第1弾】原爆ドーム・平和記念資料館等のバス停周辺でのマナー向上・混雑緩和に向けて

令和7年1月～9月の訪日外国人旅行者数は3,000万人を突破し、過去最多を更新しています。インバウンドの好調により各地がにぎわう中、問題となっているのが観光地におけるマナー違反・混雑等によるオーバーツーリズムです。広島市においても、令和6年のインバウンド客数が過去最多を記録する一方で、バスや路面電車等の公共交通機関の利用に際し、インバウンド客をはじめとする観光客のマナー違反行為について住民から声が寄せられています。オーバーツーリズムを抑制し、住民の理解を得ながら持続可能な観光地域を形成していくことは、観光立国の推進に向けた喫緊の課題です。

こういった課題に対応するため中国運輸局では、**観光庁が作成した「観光ピクトグラム」※等**を活用し、広島を訪れる公共交通機関を利用する観光客に対して、その利用方法に関する情報提供、マナーの啓発及び乗り場での案内表示の設置を行い、これらによる利用者の行動変容を実証する事業を3つのステップに分けて実施します。

【事業期間】11月5日(水)～

中国運輸局ではこれらの取組により、国内外の観光客のマナー改善及び混雑の緩和につなげることを目指しております。

＜参考＞※観光ピクトグラム（観光庁作成）

観光客への禁止事項や推奨行動を図式化したもの

例



割り込み禁止



線路への
立入り禁止



荷物を預けて
手ぶらで観光しよう

実証事業（第1弾）の概要

【実施内容】（一社）バス協調・共創プラットフォームひろしまが主体となり、原爆ドーム・平和記念公園の付近のバス停において、**秩序と安全を保つための「徒列ライン」を敷設し、マナー啓発として割込禁止を呼びかけるピクトグラムの掲示**を行います。また多数の観光客が集中する原爆ドーム付近において、案内標識及び路面標示の設置により、バス・路面電車の乗り場への円滑な誘導を行い、**混雑の緩和を図ります。**

①



整列乗車を促す
徒列ラインの敷設

※写真は広島駅の事例

②



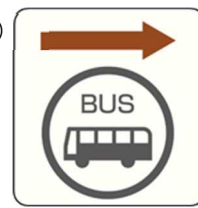
割込禁止を呼びかける
ピクトグラムの掲示

③



バスでも広島駅に
アクセスできることを示す
路面標示の貼付

④



バス停案内
表示の掲示

【実施場所】●平和公園前バス停（①②）●広島駅南口バス乗り場（②）

●紙屋町(ゲートパークプラザ前)バス停（①②④）●原爆ドーム付近の歩道（③）

・②の掲示については、11月5日以降順次作業予定です。

・事業期間終了後もピクトグラム等は存置する予定です。

★今後の取り組み★

第2弾【11月中旬頃】「観光ピクトグラム」を活用した踏切啓発ポスターの掲示

- 観光客が電車の写真撮影等を目的に線路上に進入し、列車と接触するといった事故が他の地域にて発生していることを受け、踏切付近での禁止行為や、非常時の対応を周知するポスターを鉄道駅及びその近隣にて掲示します。

第3弾【12月中旬頃】「広島観光を楽しむための公共交通ガイド」チラシを旅客施設等で配布

- 広島市内の公共交通機関利用においては不慣れな観光客が乗降に時間を要することによる遅延や、混雑する車内での大きな荷物の取り扱い等に関するトラブルが発生していることを受け、特にインバウンド観光客向けに、広島市内の公共交通機関の乗り方や車内での過ごし方を発信するチラシを制作し、ホテルや観光案内所等にて配布します。

※現地取材希望者は別紙「報道関係者登録用紙」をメールでお送りください。

【問合せ先】

中国運輸局国際観光課[音谷(おとだに)・山村(やまむら)・石川(いしかわ)]

TEL : 082-228-8702 E-mail : cgt-kokusai_kanko_section@gxb.mlit.go.jp

- 一般社団法人バス協調・共創プラットフォームひろしま [岩井(いわい)・前田(まえだ)]

TEL : 082-962-1006 E-mail : info@buspf.hiroshima.jp

報道関係者等登録用紙

所属_____

氏名_____

連絡先 TEL: _____ Mail: _____

以下にチェックをお願いします。

テレビカメラ撮影希望 : ☐あり ☐なし